

「きらきら」担当の先生のお話

皆さんの周りには、きらきら輝いている人はいますか？では、どんな人が輝いているのでしょうか。

例えば、野球の大谷翔平選手、将棋の藤井聡太名人。大きな舞台で活躍している人は、やはり輝いて見えます。しかし、先生のクラスの2年1組にも、同じようにきらきら輝いている子がたくさんいます。

授業中に手を挙げて発表している子。分からない問題や難しい問題に精いっぱい取り組んでいる子。友達に自分の考えを伝えたり友達の考えを真剣に聞いたりしている子。そして、分からなかった問題を、自分の力や友達の話聞いて分かるようになった子。今、紹介した子たちは、大谷選手や藤井名人に負けないくらい輝いています。

では、大谷選手や藤井名人と、先生が見つけた2年1組の子たちに共通していることは何でしょうか？それは、自分の力で精いっぱい頑張っていること、目標に向かって努力しようとしていることではないでしょうか。

小学生にとって、授業は1日の中で多くの時間を占めています。その1時間1時間の中で、自分の目標やめあてに向かって頑張ること。これを繰り返していくと、大人になっても、夢や目標に向かって頑張ることができると思います。難しい言葉で、「主体的」と言います。ぜひ、授業の中で目標やめあてを自分ごととしてとらえ、目標に向かって頑張る力を高めてほしいと思います。



篠原小が、きらきら輝く子であふれることを、先生は楽しみにしています。